



2019年2月25日  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
SOMPOリスクマネジメント株式会社

## 「ドライブレコーダー映像の自動解析による走行診断サービス」を 位置情報・地図データの活用で高精度化

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）とSOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスク」）は、企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』の導入企業向けに、株式会社ナビタイムジャパン（代表取締役社長：大西 啓介）のマップマッチング技術※1を連動させた、「自動解析プログラムを使用した映像解析による走行診断サービス（以下「本サービス」）」を、2019年2月から提供します。

※1ドライブレコーダーから取得する位置情報を地図データと紐付け、位置補正を行う技術です。

### 1. 概要・背景

- ・損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクは、企業の安全運転活動を支援することを目的に、ドライブレコーダーで撮影された映像から、交差点走行中の「黄・赤信号通過」「一時停止不停止」の2つを抽出し、指導レポートとして提供する本サービスを2016年8月から開始しており、「納得感の高い安全運転教育」を実現しています。
- ・また、損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクが提供する企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』では、マップマッチング技術を活用して、ドライバーの交通規則遵守を促す「うっかり運転検知機能」を2018年12月に追加しました。
- ・このたび、企業のさらなる安全運転教育に役立てていただくため、2019年2月から『スマイリングロード』の導入企業向けに、マップマッチング技術を活用したサービスの拡充を行います。

### 2. サービスの概要

#### （1）拡充するサービス（下図1参照）

『スマイリングロード』のドライブレコーダー映像を対象として、以下のサービスを追加します。

#### ① 抽出映像種類の追加

従来から抽出していた「黄・赤信号通過」「一時停止不停止」に加え、「踏切不停止」「通行禁止箇所進入」「最高速度オーバー」の3つの映像も、抽出が可能になります。

#### ② ドライバーによる不安全行動※2の定量化

従来はサービスとして備えていなかった、信号、一時停止、踏切の設置箇所の通過件数に対して、不安全行動の件数を提示することが可能になります。

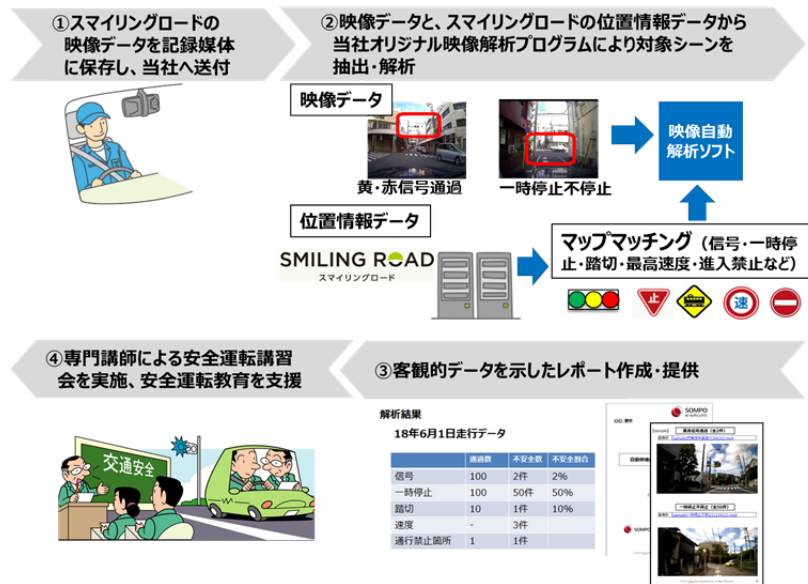
※2行為者が危険を認識しながら「意図的に」行うものです。本サービスで定量化の対象とするのは、「黄・赤信号通過」「一時停止不停止」「踏切不停止」となります。

(2) 抽出映像を活用した安全運転講習会の実施 (下図2参照)

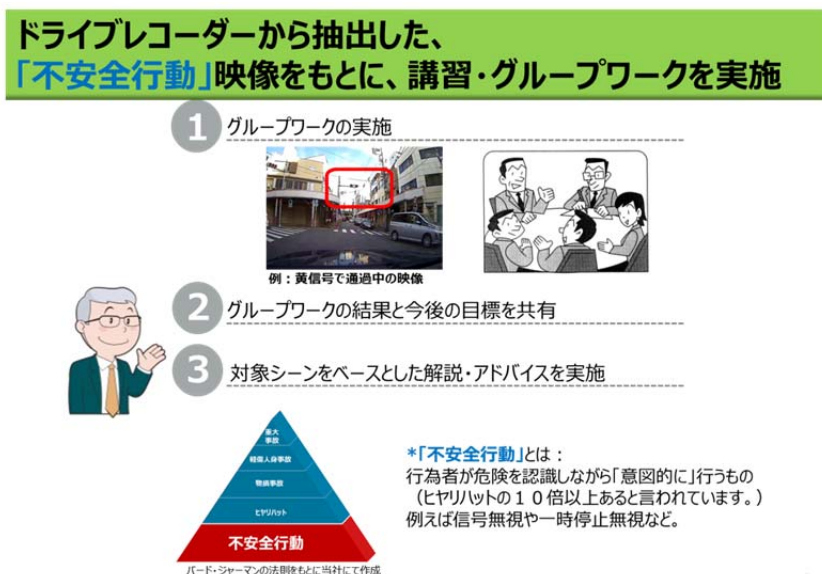
抽出映像を、企業に指導用教材として提供するとともに、SOMPOリスクの専門講師が抽出映像を活用した「安全運転講習会」を実施します。

これにより、抽出した映像を活用し、ドライバー個々の運転特性を把握したうえで、より具体的な安全運転講習が可能になります。また、不安全行動を定量化してお客さまに提示することで、運転行動変容の効果検証が可能となります。

(図1)



(図2)



3. 今後の展開

本サービスのさらなる拡充のため、2019年3月を目途にAIを用いた映像認識エンジンを搭載し、抽出精度を高める予定です。従来の映像認識エンジンと、AIエンジンとのハイブリッド方式で「黄・赤信号通過」「一時停止不停止」などの抽出を行い、より正確で幅広いドライブレコーダー映像に対応することを目指します。また、解析を行った映像データを映像認識エンジンが学習をしていくことで、解析を行うたびに精度を向上させていく取り組みを行い、より効率的で正確な情報を提供できる仕組みを作っていきます。

損保ジャパン日本興亜とSOMPOリスクは、今後も本サービスを通じて、企業の事故防止活動を支援することで、事故のない「安心・安全」な社会の実現に貢献していきます。